

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	水質事故対策		
目的	(1) 対象	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民	
	(2) 意図	水質事故に対して迅速で正確な対応を行い、流域住民等の被害を最小限とする。	
事業概要	水質汚濁防止連絡協議会を開催し、水質事故発生時の連絡・協力体制の強化を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	なし	目標値						%
			取組目標値						
	式・定義	なし	実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,053	474
うち一般財源 (千円)	1,053	474

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

県全域で56件の水質事故が発生したが、迅速・適切な対応を行うことにより被害を最小限とした。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

県全域で56件の水質事故が発生したが、迅速・適切な対応を行うことにより被害を最小限とした。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き、水質事故発生時の連絡・協力体制の強化を図り、迅速・適切な対応を行うことにより被害を最小限とする。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。